

担当教員名	山田 哲也 山岸 敬和	所属 (学部学科)	総合政策学部総合政策学科 国際教養学部国際教養学科
実施年度・クォーター	2021・Q3		
授業名	南山	プロジェクト研究 II21、アドヴァンスト演習 I	
	パートナー	Politics in East Asia	
カテゴリ	ベーシック COIL <input type="checkbox"/> アカデミック COIL <input checked="" type="checkbox"/> PBL COIL <input type="checkbox"/>		
パートナー教員名	Laurel Wei	パートナー所属	University of North Georgia
参加 学生数	南山	28 (総合政策 20、国際教養 8)	
	パートナー	25	
使用言語 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> その他言語 ()		
使用ツール (複数回答可)	Facebook <input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> Skype YouTube Canvas その他 (<input type="checkbox"/> Zoom)		
交流内容 (概略)	10月4日 山田から「日本からみた米中関係」を UNG 側受講者に英語で講義 10月7日 同内容の講義を南山生に日本語で講義 10月14日、21日、28日 UNG 側受講者からの質問に基づき南山生で討論の上、回答作成 11月4日 とりまとめのディスカッションを南山生・UNG 側が同席して実施		
期間・回数	6回		
評価方法	それぞれの科目の中で評価 (COIL 部分のみを抽出した評価は行っていない)		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ人学生との交流に加え、他学部の学生とのディスカッションもあったため、学生には刺激 となったが、その分、やりにくさを感じていたところもある。 ・それぞれの学生の関心や予備知識が異なり、南山生側の負担が大きかった。 ・UNG 側からの質問が来ないグループもあり、グループによって負担感に偏りがみられた。 ・山田ゼミ (国際法) と山岸ゼミ (政治学) という近隣領域のゼミが合同で UNG 学生の質問に答えるというのは両ゼミの学生にとっては学びが大きかった。 ・教員が初めて COIL 授業を行うときには、経験がある教員と合同で行うことが有効な手段であることを示すものであったと考える。 		